

## 第4回東京大学果樹園跡地活用等検討委員会 会議要旨

開催日時		平成25年3月8日（金）14時00分～15時45分
開催場所		町民センター2階2Aクラブ室
出席者	委員	出席13名 村山邦夫委員、中村伸吾委員、宮治正志委員、川島孝之委員、宮戸健次委員（会長）、安部健治委員、簗島喜好委員、平吹幸子委員、明石敬史委員、石坂一夫委員、神保智子委員、高見利和委員、武井健一委員
	その他	傍聴 1名
	町職員	政策部長
	事務局	政策部企画財政課3名
会議次第		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開 会</li> <li>2. 会長あいさつ</li> <li>3. 議事             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 平成25年度維持管理について</li> <li>(2) その他</li> </ol> </li> <li>4. 閉会</li> </ol>
配布資料		<ol style="list-style-type: none"> <li>① 次第</li> <li>② 資料1 『第4回東京大学二宮果樹園跡地利活用検討委員会資料』</li> <li>③ 資料2 『平成25年度東京大学二宮果樹園跡地維持管理等スケジュール』</li> <li>④ 資料3 『東京大学二宮果樹園跡地の一部用地賃貸借等募集要領（案）』</li> <li>⑤ 資料4 『東京大学二宮果樹園跡地維持管理に伴う平成25年度予算計上（予定）』</li> <li>⑥ 資料5 『東京大学果樹園跡地の維持管理区分』</li> </ol>

## ■会議概要

### 1. 開会

### 2. 会長あいさつ

### 3. 議事

#### (1) 平成25年度維持管理について

【質疑・意見など】(※◎は会長、○は委員、●は事務局の発言)

- 平成25年度は建物には手をつけないという理解で良いか。
- 現時点では触らないということで考えていきたい。
- 仮設トイレを使うということだが、イベントの開催はどうするのか。
- イベントについては、来年度に入ってから検討していただければと思う。既存のイベントで開催できるものについて、庁内プロジェクトで意見を聞いたところ、安全面と周辺道路の状況から今すぐ開催は難しいのではないかという意見が出ている。
- 予算計上の中で警備員の配置などは考えているのか。
- 警備員の配置については、今のところ考えていない。
- 中里地区の町内会で前回の会議内容を報告してきたので、地区からの意見を報告させていただきます。まず、建物に関して、安全面、防犯面から建物は取り壊して欲しいという意見があった。2つめは、イベントについて、地元で駐車場を貸してくれるところがなく、周辺の住環境からも駐車は困るので、敷地内に停めて欲しいという意見があった。また、土地の活用について、A地区には以前桜の木がたくさんあった。駐車場はないが、吾妻山も駐車場がなくても多くの方が来ているので桜の公園にしてはどうかという意見が出ている。以上が中里地区での意見になる。
- 3回予定している草刈りは、日程や時間を決めて行うのか。それともその都度参加者の方と調整して行うのか。
- 7月下旬に開催予定の草刈については、どのくらいの方が参加してくれるかわからないので、日程を決めていきたいと考えている。その後は、参加者の意見も参考にしながら検討していきたい。
- イベントは大きなものを考えているようだが、跡地内を知ってもらうために、スケッチやワークショップなどのイベントであれば検討の余地はあるのか。
- イベントは町民全体を対象とした大きなものを考えてしまうが、小さなイベントでも相談いただければ検討する。ただし、安全の面を考えなくてはいけないので必ず実施出来るとは言えない。
- ◎草刈りと絡めたイベントが出てくれば面白いのではないか。
- 以前からボランティアだけでは限界があると考えていたので、企業への貸し出しについて、企業の社会貢献として活用できないか、ある企業に打診してみた。場所代は無償、期間3年から5年で管理は企業側で行うという条件で打診したところ、その企業

は、今はできる状況ではないが、企業の状況はそれぞれ違うので、他の企業に打診してみてもどうかという返事もらった。関心のある企業を集めて現地で説明会をやるのも良いと思う。もう一つは、NPO団体に無償で貸す方法。いろいろな条件設定で幅広く投げかけて企画を募集して、早い時期に手を打つことができればボランティアで管理する期間が短くて済むのではないかと思う。

◎今の提案は、できるとすればA地区になるかと思う。

○情報が届かないと相手にはわからない。どこにPRしていくのかをリスト化した方が良い。期間が1年では難しいと思うし、長すぎても占有権が出てしまう恐れがある。

◎町だけではなかなか話が広がっていかないので、皆さんのアイデアを借りたい。

○草刈り機20台の予算があるが、草刈り機は資格がないと扱えないのではないかと。まずそれを確認してもらいたい。また最初の草刈りはかなり大変だと思うので、プロの手を借り、2回目の草刈の際にボランティアをお願いした方が良いと思う。

家庭菜園教室などのイベントと結びつけて草刈りを行うとか、バーベキュー大会を行うとか小さなイベントと抱き合わせてできるのではないかと。

○現地を見学し、改めて土地活用において一番厄介なのがB地区ではないかと感じた。

C地区の活用は、仮設駐車場や農業体験などすぐにできるのではないかと思う。維持管理面でも一番目立つところはC地区である。また、検討委員会よりも意見募集が先だったため、町民の方から意見募集しておきながら、まだ決まらないのかという意見がでてくる。

A地区は整地されているのですぐに活用の検討ができる。C地区についても、駐車場として使えそうなら、先ほどから話に出ているイベントなどの際に利用することも可能だろうし、地域の方にも迷惑をかけないと思う。

○ボランティアの規模と跡地の面積があまりにもかけ離れている。初年度は、ボランティアにやってもらう場所を限定した方が現実的だと思う。B地区は広いので安全面を講じないと、イベントなどで人が入れる状態ではない。また建物を壊して欲しいという意見もあったが、現地を見学して、あの建物はもう使えない状態だと思った。今後の検討になるが、建物の大半は使うことは難しいと思う。

○中里地区の意見では、現地に興味のある人は現地見学会の時に来ているはずで、再度意見を聞くために何かをやっても時間がかかるだけではないかという意見もあった。また、今回の資料で来年度の予算があるが、予算額が多いと思った。保険料も小学生から大人まで一律で525円というのはいかがなものかと思う。火災保険について、建物を残すか壊すかという議論は検討委員会の中でしていないが、もし残さないのであれば、建物の保険は不要になるのではないかと。草刈り機についても、使い慣れた人でなくてはいけなくて、草刈り機を持っている方に持ってもらって来てもらい、刃だけを支給することにするなどしてはどうかと思う。ボランティアも最初は良いが、続けて集まらないのではないかと思う。

- 現地に残っている果樹を欲しいという人がいたら、無償であげるということはあるのか。
- ◎現時点では考えていない。
- 大きな木は難しいと思う。もみじなどの小さなものは可能ではないか。ボランティアの募集は、この内容では来ないのではないかと思う。ただ募集するだけでなく、建物に入れるチャンスなど、興味を持ってもらえるように募集した方が良いと思う。
- 先に平成25年度の暫定利用のビジョンの検討に入るといってどうでしょうか。
- 暫定利用の中でも大きなことをやろうとしているのではなく、ワークショップ的なことをやりたいという方はいると思う。民間に渡すにも、地域の人に関心をもって協力してくれないことには難しいのではないか。
- 平成25年度の対応なので、今から予算を付け替えることはできないのか。例えば草刈り機が不要になった分を他に回すということは難しいのか。
- 議会にはこの内容で提案している。新年度に入って、議会と相談しながらフレキシブルな対応をしたいと思う。
- エリアごとのやり方と予算とスケジュールの関係がわかりにくくイメージが沸かない。
- ボランティアは募集してみないとわからないところがあると思う。
- ◎住宅に隣接するところは、ボランティアが来なくても草刈りはやらなくてはいけない部分になるので、年間を通して対応してもらうために委託する金額になる。
- A地区の活用についてはどのように考えていくのか。
- 町民の意見として、A地区は家庭菜園やオリーブの話が出ている。すぐに畑にできそうなのは、A地区だと思う。A地区を企業に貸すなら、C地区で農園的なことができるという話になっていくのではないか。全体的なことを考えた方が良いと思う。
- 先ほどの火災保険料の件について、建物を建てることのできる区域は現在建物が建っていることが条件になるので、次に建てるまでの間は残しておかなくてははいけない。壊すまでの間に何かあってははいけないので、町として保険をかけることにしている。
- どこの建物が対象となるのか。
- 全部である。
- そうすると、入口から建物のエリアまでを遮断するフェンスを設置することで安全性を確保するという考え方もあると思う。
- ◎募集要綱がこれでは、人が集まらないという意見があったが、町内の団体などにどうやってお知らせするのか、ご意見をいただきたい。
- 例えば、草刈りと炊き出しを組み合わせると開催が可能なのか。あとは、鎌の用意が必要だと思う。そうすると参加者は軍手だけ持ってくるだけで参加しやすいのではないのか。
- 何かをやるための運営母体がないとできないのではないかと思う。
- ◎これまでの話をもとに案をまとめてもらいたい。

- いただいた意見をもとに、もう一度案をまとめるので、4月くらいに次回の検討委員会を開催させていただきたい。
- A地区の利用を広報で募集してはどうか。
- 時期がくれば募集はする。現在は、登記が終わって町の物になっているが、地目変更しなくてはいけない。雑種地にできれば良いが、農地になってしまうと一般の人は使うことができない。そのためもう少し待ってもらうことになる。
- 運用母体を早めにつくる検討が必要だと思う。
- 建物を残さない場合でも、最低限トイレくらいは必要になると思う。公園としてやっていくのか、他の用途でもっていくのかで手法は違ってくると思う。
- ◎公園だけという位置づけにはしたくない。駅前の再開発や老朽化している公共施設のことも含めて考えることがテーマになる。
- 水が湧いている場所があるが、温泉になるのか。
- その上の場所で農薬を使っているのも、そういうものが含まれているのではないかという話があった。
- A地区は測量するということだが、B地区、C地区はどうするのか。
- 全地区で行う。
- 検討委員会のスケジュールは、24年度4回開催し、その後町長へ報告となっていたと思う。
- ◎当面はボランティアの進め方を報告していく。
- 我々の検討内容を広報に掲載し、メッセージとして出してもらいたい。これまでの検討委員会と違い、まちづくりの総合的な視点の中で利活用を検討していく委員会であることをメッセージとして発信していかないと誤解を招く。その中で、町としては事業を進めていることや、公共施設の再整備と東大跡地の利用と関連がでてくる可能性を視野に入れているので、将来構想と暫定利用の二本立てで検討しているということを出信する。また、跡地が次期総合計画の新交流ゾーンとして位置づけられていることを踏まえて検討を進めており、暫定利用は将来構想を見据えた中で考えていることなど。何故、具体的に活用に入れないかという建物の解体や果樹、その他の樹木の伐採などの検討が必要であり、また水道、トイレ、駐車場の整備も必要であること、そのようなことをやっていかないことには、活用に入れない。ようやくそこまで検討が進んできた。ついては、平成25年度については維持管理やゾーン別の構想も検討している。検討にあたっては、町民からいただいたご意見に対してよりどころを置いておかないといけない。というところで一旦まとめていただき、町民に発信していただきたい。
- ◎町民にお知らせしていく。今日までは暫定をどうするかという地味な話題で検討を進めており、将来構想までなかなか踏み込めなかったのも、次からもう少しスピードアップしていきたい。

○この検討委員会で検討していない情報が一人歩きしている部分もあるので、ここで町民に伝えてもらいたい。

(2) その他

次回は4月下旬の開催とし、日程は別途調整する。

4. 閉会

以上